

# 2018年12月期 第2四半期 決算説明会

**片倉工業株式会社**

(コード:3001 東証第1部)

2018年8月21日

## 1. 2018年12月期 第2四半期 決算概要

連結損益計算書

連結損益計算書／セグメント別業績

連結貸借対照表

連結キャッシュフロー計算書

## 2. 2018年12月期 通期業績予想

連結損益計算書／通期予想

連結損益計算書／セグメント別予想

設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

## 3. 中期経営計画「カタクラ2021」進捗状況

## 4. 株主還元について

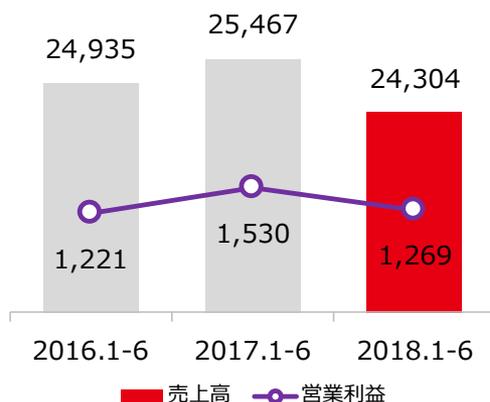
# 1. 2018年12月期 第2四半期 決算概要

前期比では、機械関連の大型受注の減を主因に減収・減益  
 予想比では、売上が下振れも各利益段階は当初予想を上回る

(金額単位：百万円)

	2018.1-6実績	2017.1-6実績	前期増減	2018.1-6予想	予想との差異
	A	B	A-B	C	A-C
売上高	<b>24,304</b>	25,467	▲ 1,163	25,000	▲ 696
営業利益	<b>1,269</b>	1,530	▲ 261	900	369
営業利益率	<b>5.2%</b>	6.0%	▲ 0.8pt	3.6%	1.6pt
経常利益	<b>1,790</b>	1,956	▲ 166	1,300	490
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>950</b>	916	34	600	350

## 過去3年間の業績推移



### 【売上高・営業利益】

- ・機械関連・繊維・医薬品で減収
- ・繊維は利益改善も、上記減収により減益

### 【親会社株主に帰属する四半期純利益】

- ・前期に医薬品事業の割増退職金(2億円)があったためほぼ前期並み

### 【売上高・営業利益】

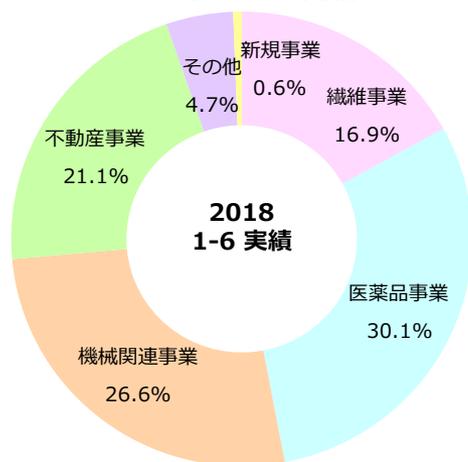
- ・機械関連で期ズレを主に当初予想を下回る
- ・医薬品で販売管理費の期ズレにより営業利益では当初予想を上回る

# 連結損益計算書／セグメント別実績

(金額単位：百万円)

	2018.1-6実績		2017.1-6実績		前期増減		2018.1-6予想		予想との差異	
	A		B		A-B		C		A-C	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維事業	4,118	76	4,495	▲ 57	③ ▲ 377	133	4,300	▲ 50	③ ▲ 182	126
医薬品事業	7,305	300	7,530	513	② ▲ 225	▲ 213	7,200	50	105	② 250
機械関連事業	6,458	▲ 44	6,960	208	① ▲ 502	▲ 252	7,000	200	① ▲ 542	▲ 244
不動産事業	5,132	1,802	5,141	1,778	▲ 9	24	5,200	1,700	▲ 68	102
その他	1,145	27	1,260	23	▲ 115	4	1,200	0	▲ 55	27
新規事業	144	▲ 155	79	▲ 172	65	17	100	▲ 200	44	45
調整額	-	▲ 736	-	▲ 764	-	28	-	▲ 800	-	64
合計	24,304	1,269	25,467	1,530	▲ 1,163	▲ 261	25,000	900	▲ 696	369

## セグメント別売上高構成比



### ①：機械関連で減収・減益

・前期に高粗利の電力会社向け大容量送水ポンプ車の受注があったため

### ②：医薬品で減収・減益

・新規後発品 2 成分 3 品目の発売（6月）があったものの、薬価改定の影響による

### ③：繊維で減収も増益

・構造改革に伴う低採算商品の絞り込みによる  
・物流費等の削減により利益は改善

### ①：機械関連で下振れ

・受注した特装車両の出荷が下期にずれ込んだため

### ②：医薬品で利益上振れ

・プロモーション関連の宣伝費、研究開発費の期ズレによる

### ③：繊維で売上が下振れも、利益上振れ

・構造改革に伴う低採算商品の絞り込みによる  
・機能性繊維で高粗利の耐熱性繊維が伸長

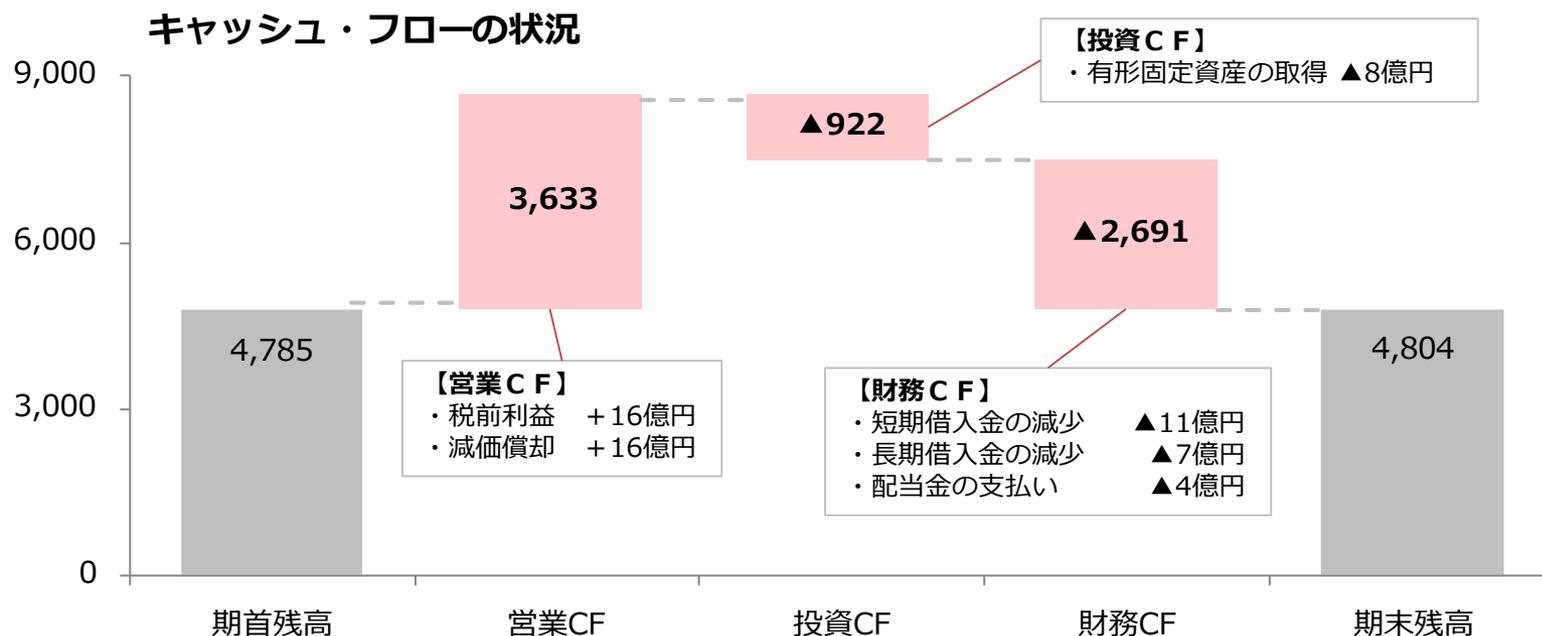
# 連結貸借対照表

(金額単位：百万円)

	2018.6	2017.12	前期増減	
	A	B	A-B	
流動資産	<b>51,800</b>	54,793	▲ 2,993	・ 期末在庫（消防自動車）の出荷による棚卸資産と仕入債務の減
固定資産	<b>89,715</b>	89,780	▲ 65	
有形固定資産	<b>49,446</b>	50,284	▲ 838	・ 減価償却による減
無形固定資産	<b>865</b>	1,019	▲ 154	
投資その他の資産	<b>39,403</b>	38,476	927	
投資有価証券	<b>36,327</b>	35,315	1,012	
資産合計	<b>141,515</b>	144,573	▲ 3,058	
負債合計	<b>59,278</b>	63,673	▲ 4,395	
借入金	<b>17,533</b>	19,418	▲ 1,885	・ 返済による減
預り敷金保証金	<b>9,600</b>	9,809	▲ 209	
繰延税金負債	<b>11,099</b>	10,700	399	
純資産合計	<b>82,237</b>	80,899	1,338	
その他有価証券評価差額金	<b>17,313</b>	17,317	▲ 4	・ 投資有価証券の時価評価差額
非支配株主持分	<b>23,925</b>	23,081	844	
負債・純資産合計	<b>141,515</b>	144,573	▲ 3,058	

(金額単位：百万円)

	2018.1-6実績	2017.1-6実績
現金及び現金同等物の期首残高	4,785	13,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,633	2,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 922	▲ 3,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,691	▲ 1,229
現金及び現金同等物の増減額	19	▲ 1,843
現金及び現金同等物の期末残高	4,804	11,405



## 2. 2018年12月期 通期業績予想

## 構造改革の2年目。売上を3億円積み増しも、利益段階は当初計画通り

(金額単位：百万円)

	2018修正予想	2017実績	前期増減	2018期初予想	差異
	A	B	A-B	C	A-C
売上高	<b>46,000</b>	46,185	▲ 185	45,700	<b>300</b>
営業利益	<b>1,600</b>	1,901	▲ 301	1,600	0
営業利益率	<b>3.5%</b>	4.1%	▲ 0.6pt	3.5%	0pt
経常利益	<b>2,400</b>	2,660	▲ 260	2,400	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>1,000</b>	1,224	▲ 224	1,000	0

### 過去3年間の業績推移



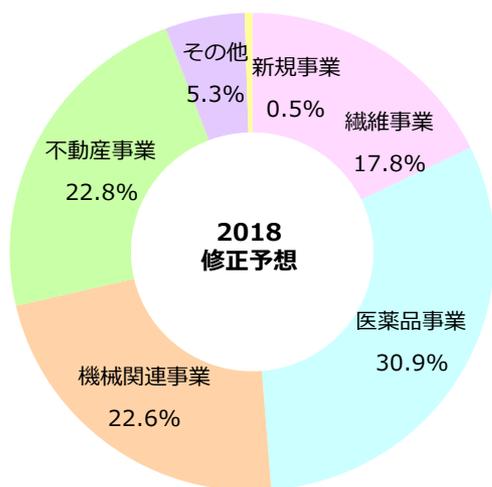
#### 【売上高・営業利益】

・セグメントごとに増減があるものの、全体では3億円の増収、利益段階は当初計画どおりの水準を見込む

(金額単位：百万円)

	2018修正予想		2017実績		前期増減		2018期初予想		差異	
	A		B		A-B		C		A-C	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維事業	8,200	▲ 100	9,132	▲ 135	▲ 932	35	8,500	▲ 100	③ ▲ 300	0
医薬品事業	14,200	150	14,271	581	▲ 71	▲ 431	14,000	50	② 200	100
機械関連事業	10,400	▲ 200	9,689	▲ 168	711	▲ 32	10,000	▲ 100	① 400	▲ 100
不動産事業	10,500	3,600	10,380	3,575	120	25	10,500	3,600	0	0
その他	2,450	50	2,486	▲ 41	▲ 36	91	2,450	50	0	0
新規事業	250	▲ 350	226	▲ 343	24	▲ 7	250	▲ 350	0	0
調整額	-	▲ 1,550	-	▲ 1,566	-	16	-	▲ 1,550	-	0
合計	46,000	1,600	46,185	1,901	▲ 185	▲ 301	45,700	1,600	300	0

## セグメント別売上高構成比



### ①：機械関連で増収も減益

- ・一般消防自動車の受注増による増収を見込む
- ・一方、外注費等の増加により減益を見込む

### ②：医薬品で増収・増益

- ・ビソノテープや、新発売の後発品の伸長等により増収を見込む
- ・研究開発費の減少により増益を見込む

### ③：繊維で減収

- ・低採算商品の絞り込みにより当初想定より減収を見込むが、機能性繊維で高粗利の耐熱性繊維が伸長し当初利益予想どおりを見込む

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

(金額単位：百万円)

		2018修正予想	2017実績	前期増減	2018期初予想	差異
		A	B	A-B	C	A-C
	不動産事業	<b>830</b>	839	▲ 9	800	30
	その他のセグメント	<b>1,310</b>	1,238	72	1,410	▲ 100
設備投資額		<b>2,140</b>	2,077	63	2,210	▲ 70

	不動産事業	<b>1,790</b>	1,896	▲ 106	1,850	▲ 60
	医薬品事業	<b>1,050</b>	1,054	▲ 4	1,050	0
	その他のセグメント	<b>490</b>	485	5	500	▲ 10
減価償却費		<b>3,330</b>	3,435	▲ 105	3,400	▲ 70

	医薬品事業	<b>1,850</b>	1,809	41	1,900	▲ 50
	その他のセグメント	<b>290</b>	356	▲ 66	410	▲ 120
研究開発費		<b>2,140</b>	2,165	▲ 25	2,310	▲ 170

### 3. 中期経営計画「カタクラ2021」進捗状況

# (1) 業績・設備投資額等の推移

## ◆ 業績の推移

**カタクラ2021**

### 売上高

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021
	実績	実績	予想	中計
繊維事業	9,635	9,132	8,200	<b>11,500</b>
医薬品事業	15,065	14,271	14,200	<b>15,200</b>
機械関連事業	9,412	9,689	10,400	<b>13,000</b>
不動産事業	10,188	10,380	10,500	<b>10,800</b>
その他	2,502	2,486	2,450	<b>4,100</b>
新規事業	124	226	250	<b>2,000</b>
	46,927	46,185	46,000	<b>56,600</b>

### 営業利益

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021
	実績	実績	予想	中計
繊維事業	▲ 250	▲ 135	▲ 100	<b>500</b>
医薬品事業	199	581	150	<b>1,200</b>
機械関連事業	88	▲ 168	▲ 200	<b>400</b>
不動産事業	3,176	3,575	3,600	<b>4,000</b>
その他	▲ 27	▲ 41	50	<b>200</b>
新規事業	▲ 484	▲ 343	▲ 350	<b>100</b>
調整額	▲ 1,216	▲ 1,566	▲ 1,550	<b>▲ 1,200</b>
	1,486	1,901	1,600	<b>5,200</b>

## ◆ 設備投資額等

(金額単位：百万円)

	2017	2018	合計	2017~2021年 計画
	実績	予想		
不動産事業	839	830	1,669	<b>18,000</b>
その他のセグメント	1,238	1,310	2,548	<b>7,000</b>
設備投資額	2,077	2,140	4,217	<b>25,000</b>

不動産事業	1,896	1,790	3,686	<b>8,500</b>
医薬品事業	1,054	1,050	2,104	<b>4,500</b>
その他のセグメント	485	490	975	<b>3,000</b>
減価償却費	3,435	3,330	6,765	<b>16,000</b>

医薬品事業	1,809	1,850	3,659	<b>10,000</b>
その他のセグメント	356	290	646	<b>2,000</b>
研究開発費	2,165	2,140	4,305	<b>12,000</b>

## (2) 取り組みの方向性と進捗

- 不採算事業については、**2018年度中を目途**に、ビジネスの縮小・撤退も視野に入れながら構造改革を完了させる
- 継続的に成長している事業については、**事業領域を拡大させ、更なる成長**を目指す
- 重点戦略分野では、各事業セグメントの経営資源を持ち寄り、他社との**業務提携やM&Aを積極的に活用**しながら、グループの新たな柱となる事業の創出を目指す

①

事業・体制  
の見直し

②

一部撤退

③

事業拡大・  
成長戦略

①

### 事業・体制の見直し

#### ガバナンス強化

- 指名・報酬諮問委員会の設置（昨年11月）

#### バランスシートの効率化

- 社有未利用地の売却・・・不動産ポートフォリオの整理を実施

所在地	実施時期	敷地面積
群馬県前橋市	2017/2	約150㎡
米国ハワイ	2017/3	約16,200㎡
山形県東置賜郡	2017/9	約9,600㎡

所在地	実施時期	敷地面積
埼玉県加須市	2018/3	約100㎡
新潟県胎内市	2018/3	約50㎡
福島県南相馬市	2018/8	約3,300㎡
福岡県福岡市	2018/9 予定	約990㎡

#### 繊維事業

- 実用衣料分野で低採算商品の絞り込み・販売ルート見直し

#### 医薬品事業

- 希望退職の実施による労務費の圧縮（昨年2月）

②

### 一部撤退

#### 繊維事業

- 補整下着事業からの撤退（本年4月末）

#### 新規事業

- 立ち上げから3年を経過した各事業の検証実施
- 化粧品事業からの撤退（本年10月末）
- DS直営事業からの撤退（本年9月までに全2施設を賃貸スキームに変更）

③

### 事業拡大・成長戦略

#### 医薬品事業

- 領域戦略・製品戦略の転換に取り組み

製剤名	領域等（※）	状況
キックリン	腎・透析 / 新薬(他社)	・2017/10 アステラス製薬と共同販促契約締結
トラセミドOD錠 (4mg・8mg)	循環器 / 後発品	・2018/6 発売
アミオダロン注	循環器 / 後発品	・2018/6 発売
ビソノテープ	循環器 / 新薬	・適応追加、製剤改良申請中 → 2019年上市予定

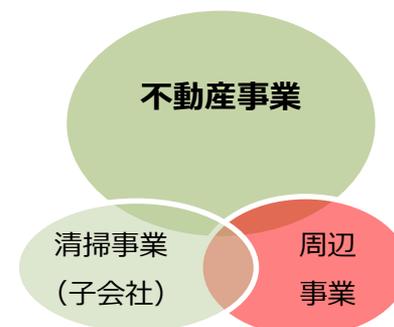
（※）後発品のない先発品：新薬、後発品のある先発品：長期収載品

③

### 事業拡大・成長戦略

#### <新規取得・事業領域の拡大>

- 当社の強みのある「**コクーンシティ**」(さいたま新都心)周辺を中心とした首都圏における商業系・業務系物件を中心に検討
- **不動産周辺事業(BM等)への進出**を検討
- 特別顧問(本年2月就任)の実践的な助言を受け事業の拡大に取り組み



#### <さいたま新都心まちづくり>

施設/計画名称	開業	敷地面積	内容
コクーンアスレックス	2017/9	約600㎡	・ ヨガ、ボルダリング、ラン&ウォーク、カフェ等のサービス提供
コクーン保育園	2018/4	(パークサイドビル内)	・ 企業主導型保育事業として従業員・テナント等の提携企業、地域住民の方も利用可能
第三期開発	・ エリア全体を対象に開発計画を検討中		



「コクーンアスレックス」  
(運営者：(株)BEACH TOWN)

#### <既存施設・社有地開発>

施設/計画名称	開業	敷地面積	内容/現況
グランダ井の頭公園(東京都三鷹市)	2017/7	約2,670㎡	・ 住宅型有料老人ホーム(全52室)
いわき市社有地再開発(福島県)	計画検討中	約29,100㎡	・ イオンリテール賃貸中
松本市社有地開発(長野県)	計画検討中	約23,140㎡	・ イオンモール他へ賃貸中
福島市社有地開発(福島県)	計画検討中	約8,700㎡	・ 福島赤十字病院へ賃貸中



「グランダ井の頭公園」  
(運営者：(株)ベネッセスタイルケア)

## ■ さいたま新都心駅前社有地

社有地全体：147,000㎡ (公道等除く)

### 社有地南側の開発が確定し、エリアの魅力が高まる

- ① 埼玉県最大級、総計画戸数1,400戸の大型マンション「シントシティ」が2020年竣工予定
- ② 民間企業2社が用地取得、複合用途施設として整備予定



a.コクーン1 b.コクーン2 c.コクーン3 d.パークサイドビル e.レクサスさいたま新都心 f.フォルクスワーゲンさいたま新都心 g.コクーンアスレチックス  
h.ガーデンヒルズ迎賓館 i.さいたま新都心 コクーンシティ住宅展示場 j.オフィスビル k.ニチイホーム アイリスガーデン l.デイリーヤマザキ

### (3) ESGへの取り組み

#### ① 民間企業初、コクーンシティが市民緑地認定

- ・ 認定面積：約4,400㎡（下図、赤色部分内の一部）
- ・ 都市公園と同等の機能を果たすものとして管理・保全にあたる
- ・ 固定資産税の減免もあり



#### ② 東日本大震災復興支援イベントを開催

- ・ 6月15～17日開催
- ・ 東北3県の物産展、震災パネル展等を実施



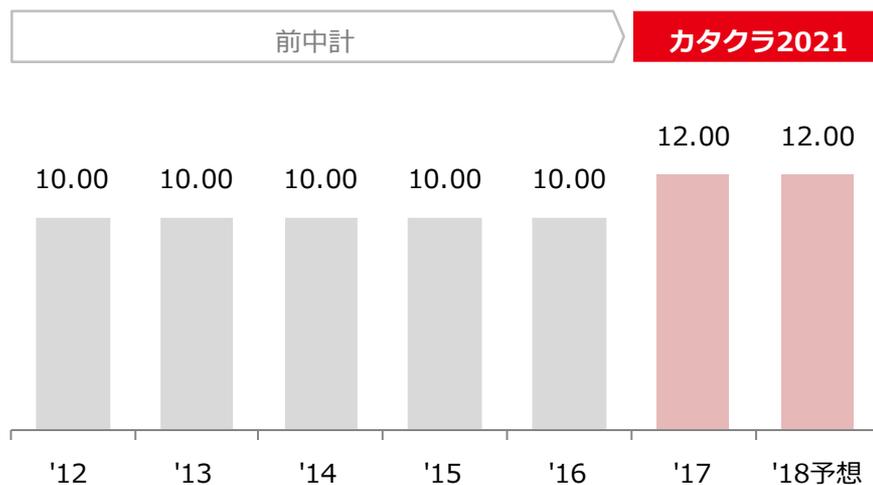
## 4. 株主還元について

## <利益配分の方針>

当社は、株主の皆様への利益還元を、経営上重要な政策の一つに位置付けております。

利益の配分については、安定配当の実施を基本とし、業績や今後の事業展開、内部留保の水準等を総合的に勘案のうえ、配当を行うこととしております。

## <配当金と純利益の推移>



### ➤ 2007年度

- 8→10円へ増配

### ➤ 2017年度

- 1株につき2円増配の12円の期末配当を実施。

### ➤ 2018年度

- 安定配当の実施を基本として、1株につき12円の配当を予定。

純利益 (百万円)	701	1,001	268	226	1,691	1,224	1,000
1株当たり当期純利益 (円)	19.95	28.50	7.62	6.44	48.11	34.83	28.49
配当性向 (%)	50.1%	35.1%	131.2%	155.2%	20.8%	34.5%	42.1%

# 《参考資料①》カタクラグループの多角化起源

創業 1873年 (明治6年)

設立 1920年 (大正9年)

カイト  
垣外製糸場



生糸



富岡製糸場の保有  
1939~2005年  
(66年間)



生糸製造

生糸製造の伝統を受け継ぐ

## 繊維事業

衣料品事業部  
肌着、靴下の製造・販売

オグランジャパン(株)  
カジュアルインナーの製造・販売

(株)ニチビ  
水溶性繊維、耐熱性繊維の  
製造・販売



蚕糸関連研究

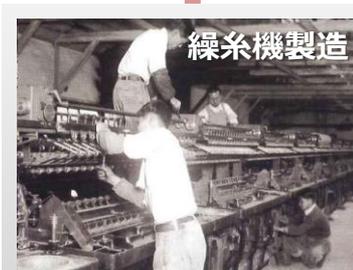
優良蚕品種研究を活かす

## 医薬品事業

トーアエイヨー(株)  
医療用医薬品の製造・販売

## その他

生物科学研究所  
訪花昆虫の販売等



繰糸機製造

自社開発の製造ノウハウを活かす

## 機械関連事業

機械電子事業部  
自動車部品の製造・販売  
石油製品等の輸入販売

日本機械工業(株)  
消防自動車の製造・販売

片倉機器工業(株)  
農業用機械の製造・販売



製糸工場

跡地を有効利用する

## 不動産事業

商業施設事業部  
ショッピングセンターの運営  
不動産賃貸

不動産開発部  
社有地の開発・活用

## その他

小売事業部  
小売業の運営  
(株)片倉キャロンサービス  
ビル管理サービス

# 《参考資料②》カタクラグループの事業構成

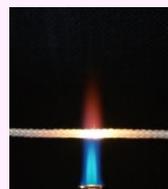
## 繊維事業

Katakura Silk

介護肌着

ライセンス製品

アルミナ長繊維  
(耐熱性繊維)



衣料品事業部

オグランジャパン(株)

(株)ニチビ

## 医薬品事業



トーアエイヨー(株)

## 不動産事業

東京スクエアガーデン

ココーンシティ



商業施設事業部

不動産開発部

## 機械関連事業

三岐弁

振動ハブリング  
洗浄器

二輪管理機

はしご車



機械電子事業部

片倉機器工業(株)

日本機械工業(株)

## その他

アグリビジネス

ヘルスビジネス

ニューライフ  
カタクラ

マルベリー  
ガーデン

交配専用みつばち商品

ビルの清掃等



新規事業開発部

小売事業部

生物科学研究所

(株)片倉キャロンサービス

## <ご案内>

本資料中の業績見通し等についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。その実現・達成を保証または約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に含まれる情報の掲載にあたりましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

## <お問い合わせ先>

片倉工業株式会社

住所：〒104-8312 東京都中央区明石町6番4号

企画部 広報・IR室 室長 森 英明 / 菊地 信行

Tel : 03-6832-0223

Fax : 03-6832-0282

世界遺産登録「富岡製糸場」



特集WEBページ「片倉工業と富岡製糸場が歩んだ歴史」

<http://www.katakura.co.jp/tomioka.htm>